

タイトル:平成 26(2014)年度 教育セミナー(第 10 回)

日時:平成 26 年 9 月 20 日(土)~23 日(火・祝)

場所:東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究 3 階 マルチメディア会議室(304)

「ムハンマド・アリーによるシリア占領と宗教政策」

藻谷 悠介(東京大学大学院人文社会系研究科アジア史専門分野)

9 月 20 日から 23 日の間、中東☆イスラーム教育セミナーに参加させていただき、とても貴重な時間を過ごすことができました。4 日間に渡る日程は、参加前にはハードスケジュールにも見えましたが、実際に始まってみると一瞬の内に終わってしまいました。もちろん、セミナーの内容はとても密度が濃く、決してハードでなかったわけではありませんが、その分集中して充実した時間を過ごせた、ということであると思います。

講師の先生方のセミナーや受講生発表の後には次々と質問・意見がフロアから出され、発表内容と併せて大変に勉強になるものばかりでした。自分は歴史学を学んでいますが、中東☆イスラーム教育セミナーは他分野の方も大勢いらっしゃり、様々な観点から議論が盛り上げていく光景はとても新鮮で、また刺激的でありました。分野を跨ぐ規模の大きな学会において、修士課程の学生はなかなか議論に参加しにくいことを考えても、このような場は大変貴重なものであると思われれます。他大学の同年代の学生と交流できるというのも得難い機会であったと感謝しております。

また、自分は受講生発表の機会もいただくことができました。あらかじめ発表要旨を提出する段階では見切り発車に近い状態でありましたが、夏休みを利用して発表の準備をすることで、修士一年の夏を緩むことなく過ごせたのは、受講生発表の副産物であったように思います。当日は同年代の受講生と、とても豪華な顔ぶれの先生方から、鋭い指摘を沢山いただくことができました。実証部分の欠陥といった細かい点から、問題設定や研究の視座のような大きな点まで、発表内容に限らない幅広い指摘を受けたことで、今後の研究の助けとなったばかりか、狭くなりがちな視野を広げることにもつながったと感じています。

最後になりましたが、中東☆イスラーム教育セミナーに携わって下さった AA 研の先生方、事務局の方々、及び足を運んでくださった講師の先生方にこの場でお礼申し上げます。